

令和2年度 自己評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
校長氏名	石神 和弘
作成日	令和2年1月28日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答85%以上	・図書室への総来室者数⇒前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。	今年度実施の県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。	学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上を維持
重点目標【P】	◎学校だより・ホームページの発行・更新を通して、学校の情報を発信していく。 ○地域の方々との交流を計画的・積極的に進める。	◎図書館教育の推進を継続する。 ○道徳教育を計画的に進める。 ○豊かな体験活動の充実を図る。	◎子供たちの話し合い活動を重視した授業改善に努める。 ○基礎学力の定着	◎児童の安全確保のために、計画的かつ能動的な体制を構築する。
取組の状況【D】	「学校だより」を月に1回発行した。また、今年度はコロナ禍にあり、様々な行事が中止や変更となったため、その都度、手紙やホームページ等で情報を伝えてきた。 地域の方々との交流として、民生委員の方々にミシンの操作補助をしていただいた。	・保護者のボランティア活動を継続した。 ・道徳の授業を年間計画の通りに進めた。 ・1～4年生の遠足、5年生の合宿、森林学習、6年生の修学旅行を実施した。	・全職員参加の元、話し合い活動の充実を目指した研究授業を学年1回ずつ行った。 ・基礎学タイムの取組を学校で統一した。 ・漢字の博士試験に挑戦した。 ・6年生対象の放課後フォローアップ事業を新規に取り入れた。 ・県学習到達度調査を行った。 (現在結果待ち)	・月に1回の校内安全点検 ・年に3回の避難訓練 ・警報発令時の一斉下校と保護者のお迎え(3回実施) ・感染症対策 ・運動場使用における安全指導
取組の成果と課題【C】 (評価結果)	学校だよりやホームページ、地域の新聞等を通じて学校長の考えを発信できたと思う。地域との交流はできる範囲で行えた。 課題として、各学年からも情報発信を行えるようにするための組織を整えることと考えている。 学校評価アンケートでは、「分かりやすく伝える」ことに関して「思う」が68.0%であり、昨年度から6.5%減少した。	・図書ボランティアの方々のおかげで落ち着いて読書のできる環境や図書の修理、新書の充実等を行うことができた。図書室への入室者数は概ね良好であった。特に6年生の利用が盛んであった。 ・学校評価アンケートでは、「モラル」に関して「わからない」が昨年度よりも1.2%増えた。	・研究授業は目指すべき理想の授業の形を共通理解するよき機会となった。 ・基礎学力向上のための取組を校内で統一したことで、来年度への移行がスムーズになった。継続・発展させていくことが今後の課題である。 ・県学習到達度調査を全職員で分担して採点したことで、誤答の傾向を共通理解できた。	・地震、火災、津波を想定した避難訓練を実施した。中でも4階まで上がり教室の施錠を解除する方法を新たに取り入れた。 ・警報発令時でのお迎えでは回を重ねるごとにスムーズな引き渡しができるようになった。 ・感染症対策として自動水栓やレバー式ハンドルを設置した。 ・学校評価アンケートでは「安全」に関して「思う」が昨年度に比べ4.3%減少した。
改善方法【A】 (次年度に向けて)	早い時期での授業参観、家庭訪問を実施し、担任と保護者との信頼関係をいち早く築くことで保護者の声が学校教育に届きやすくなるようにする。 今年度できなかった地域との交流を積極的に行うとともに、地域の人材を発掘し、学校教育にいかすことで、児童に地域に対する誇りをもてるようにする。	・図書ボランティアの新規会員を増やしていくこと。 ・道徳教育の研究授業を行い、取組を職員で共有すること。 ・コロナ禍にあっても豊かな体験活動を創造していくこと。 ・保護者を対象とした「情報モラル教室」を実施すること。	・国語科の研究授業を継続し、一層の授業力向上を目指すこと。 ・算数科の指導を校内で統一できるように研究授業を行うこと。 ・基礎学力向上の取組を継続すること。 ・放課後フォローアップ事業の対象を5年生にも拡大すること。	・学校評価アンケートの結果を受け止め、児童の安全を守るための取組を一層充実させていく必要がある。そのため、校内、校外(登下校)、非常変災時等に分けて見直していく。 ・感染症への対策も引き続き気を引き締めて行っていく。特に熱中症の危険のある時期には注意するようにする。

3 その他の課題

・運動会の開催時期と保護者の入場者数、感染症対策 ⇒ 10月下旬 保護者2名まで 検温